



戸沢村:道の駅とざわから見る高麗館と最上川

最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2020年9月号
山形県最上総合支庁



一日知事が、県の仕事を学びます！

未来を担う子どもたちに“ふるさと山形”への理解を深めてもらうため、吉村知事と交流を持ち「一日知事」を体験する「子ども知事室」が8月11日に開催され、最上地域から2名が参加しました。

吉村知事との懇談では、知事に「山形県の貴重な資源である緑を大切にするため、どのような取り組みを行っているか」「新型コロナウイルスの影響が続く中、山形県を盛り上げるために何が必要だと考えるか」といった質問がされ、知事からの回答に耳を傾けながら、熱心にメモを取る様子が見られました。

午後は議会棟を見学し、議席や演壇などを間近で見られる貴重な機会となりました。



三上修矢さん
(金山小5年)

高橋つな美さん
(日新小5年)



[総務課 29-1360]

新型コロナ対策で先輩が提言

8月26日、最上総合支庁において、様々な分野でご活躍されている地域の先輩方の知恵や知識を県政に反映するため、「山形県知恵袋委員会」を開催しました。今年度は新型コロナ対策として、知事からの委員委嘱状交付式を県庁とオンラインで結び執り行った後、橋本最上総合支庁長をはじめ幹部8名の出席のもと、「新型コロナウイルスを克服するための方策」をテーマに、最上地域在住の委員8名から様々な分野にわたる多くのご意見、ご提言をいただきました。いただいたご意見、ご提言については、できる限り施策等に反映してまいります。

【委員からの主なご意見、ご提言】

- 県民の不安払拭や誹謗中傷防止のため、新型コロナウイルスに関する正確な知識や情報をわかりやすくまとめたものを広報してはどうか。
- 多くの人に触れる学校や福祉施設の蛇口やドアの自動化を推進し、感染リスクをもっと減らすべき。
- 観光産業振興と感染リスク低減の観点から、県内や近隣地域への旅行をもっと推奨してはどうか。身近な場所の魅力を発見することも素晴らしい旅だと思ふ。



高校生が医療現場を見学しました！

8月17日と18日の2日間、新庄徳洲会病院で「高校生対象医療現場見学会」を開催しました。最上地域では、医師や看護師等の医療従事者が全国あるいは山形県全体と比較しても少ない状況のため、その進路志望が確実なものとなるよう、医療従事者を志望する最上地域の高校生の皆さんに実際の医療現場を見ていただきました。

参加者からは「実際に看護師さんなどの話を聞いて良かった。」などの感想が寄せられており、見学会に参加した高校生の中から、多くの医療従事者が輩出されることを期待しています。今後、将来の最上地域の医療従事者確保の環境づくりのため、小学校や中学校においても学習会等を開催いたします。たくさんの児童・生徒の皆さんの参加を心よりお待ちしております！

[保健企画課 29-1257]



地元で働く魅力を知ってください！「ジモトーーク〜若手従業員のリアルなお話〜」



7月31日、山形県立新庄南高等学校金山校において、全校生徒を対象に、地元の様々な職場で働く若手社員の方から仕事のやりがいや暮らしについて語ってもらう特別授業を開催しました。

金山コネクタ(株)の小野広翔さん、(有)大沼産業の早坂勇祐さん、(株)柿崎工務所の梁瀬優理香さんの3名の先輩から、学生時代の話や今の仕事に就いたきっかけ、仕事をする上で大切にしていること、休日の過ごし方など、お手製の「紙芝居」を使ってわかりやすくお話いただきました。

意見交換では、「一番やりがいを感じた瞬間は?」「ストレスの発散方法は?」等、様々な質問が出されるとともに、生徒からは、「どの先輩も楽しそうに働いていると感じた。」「就職について前向きになれた。」といった声が聞かれ、自分の進路や将来について深く考える機会となったようです。

県では、引き続き、こうした機会を活かし、若者の職業意識の醸成を図るとともに、若者が輝き、生き活きと暮らせる躍動感のある地域の実現を目指し、若者定着・地元回帰に取り組んでまいります。



[地域産業経済課 29-1309]

「人口減少を止めるには」について考える

8月1日、山形県立新庄北高等学校の生徒が最上総合支庁を訪問し、最上地域の人口減少対策について、職員にインタビューを行いました。「最上地域の人口減少を止めるには?」をテーマに研究を行っている探求科2年生の生徒3名から、最上総合支庁は最上地域の人口流出の課題と対策をどのように考えているのかについて聞きたいという依頼を受けたものです。

「人口動態」(担当:保健企画課)、「地域づくり(ジモト大学)」(担当:連携支援室)、「若者定着」(担当:地域産業経済課)、「最上地域の魅力発信」(担当:観光振興室)、「医療人材確保」(担当:保健企画課)のそれぞれの視点から、人口流出に関する課題と対策を説明し、高校生からの質問に答えました。終了後には、「高校卒業後の人口流出が想像以上に大きかった。また、その対策として様々な角度から取組みが行われていることを知ることができた。」という声が聞かれ、有意義な時間となったようです。

12月には課題に対する解決策などをまとめた研究結果を発表する予定とのことで、高校生の視点からどのような研究成果が出されるのか楽しみです。

[保健企画課 29-1257]



(1) 一人ひとりの基本的感染対策



感染防止の3つの基本 ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状が無くてもマスクを着用する。
ただし、夏場は熱中症に十分注意する
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。人混みの多い場所に行った場合は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）
- ※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする



移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリも活用 地域の感染状況に注意する

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- こまめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に）
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝、体温測定・健康チェック。発熱または風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用 1人または少人数ですいている時間に
- 電子決済の利用 計画を立てて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいている時間、場所を選ぶ ジョギングは少人数で
- 筋トレやヨガは十分に人との間隔を。もしくは自宅で動画を活用
- すれ違う時は距離を取るマナー 予約制を活用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに 混んでいる時間帯は避けて 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも活用 屋外空間で気持ちよく 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座る 料理に集中、おしゃべりは控えめに お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリを活用 発熱又は風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 時差通勤でゆったりと
- 対面での打合せ時は換気とマスク着用

問い合わせ先

受診相談センター（症状のある方）【毎日24時間対応】	0120-880006
一般相談センター【毎日8時30分～18時】	0120-567383
※新型コロナのわからないことや不安、予防方法等	

山形県新型コロナウイルス対策応援金の募集

新型コロナウイルス感染症のため医療の最前線で活躍している県内の医療関係者や感染拡大により大きな影響を受けている方々などを支援するため「山形県新型コロナウイルス対策応援金」を募集しています。

◆下記指定口座のいずれかにお振込みください。

◆問い合わせ先 8:30～17:15(平日)

金融機関	口座番号	口座名義
山形銀行 県庁支店	普 3121925	山形県新型コロナウイルス対策応援金 (ヤマガタケンシンガタコロナタイサクオウエンキン)
荘内銀行 県庁前支店	普 1036406	
きらやか銀行 本店営業部	普 2033500	

県 県民活動・防災ボランティア支援室
023-630-3238,2122
最上総合支庁総務課
0233-29-1209

※振込手数料については、ご負担くださいますようお願いいたします。

※詳細は山形県 HP (https://www.pref.yamagata.jp/ou/bosai/020070/korona_kifu.html) をご覧ください。

山形県新型コロナウイルス感染症対策 離職者応援事業

第1期申請期限: 9月11日(金)

山形県新型コロナウイルス対策応援金の寄付者の思いを踏まえて、新型コロナウイルス感染症の影響により離職を余儀なくされた県内の労働者を応援するため、山形県新型コロナウイルス感染症対策離職者応援金を準備しました。

◆対象者 新型コロナウイルス感染症に起因して解雇・雇止めされた県内の労働者 ◆応援金 一人一回限り 5万円

※詳細は山形県 HP (<https://www.pref.yamagata.jp/ou/shokokanko/110009/koyotaisakutantou/rishokushaouen.html>) をご覧ください。

9月は山形県防災月間です

令和2年7月27日からの記録的な豪雨により、最上地域においても甚大な被害が発生しました。

被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

山形県では山形県防災基本条例を定め、県民の間に広く防災についての関心と理解を深めるとともに、防災の取組みを推進するため、防災の日である9月1日を含む9月を山形県防災月間としています。家族で、職場で、学校で、地域で、防災について考えてみましょう。

令和2年7月大雨の被害状況

令和2年7月27日からの記録的な大雨による最上地域の主な被害状況は以下のとおりです。(8月25日現在)

- ・床上浸水 16 棟、床下浸水 44 棟、非住家浸水 42 棟
- ・県管理道路の被害 9 路線 16 箇所
- ・県管理河川の被害 39 河川 156 箇所
- ・土砂災害 5 箇所
- ・農林水産被害額 5 億 3,800 万円



大蔵村 柳淵地内 地すべり

平成30年8月豪雨の被害状況

近年では、平成30年8月5日及び30日にも、2度にわたる豪雨により最上地域で甚大な被害が発生しました。

- ・床上浸水 34 棟、床下浸水 390 棟
- ・県管理道路の被害 52 箇所
- ・県管理河川の被害 395 箇所
- ・土砂災害 12 箇所
- ・農林水産被害額 50 億 4,630 万円



戸沢村 古口地内 浸水

これらの被害に対し、最上総合支庁では一日も早い復旧に努めてまいります。

災害から身を守るために

大規模な災害の発生を完全に防ぐことは不可能ですが、普段からの備えによって、被害を減らすことは可能です。

県では、自分のいのちを守るための最も基本的な行動である『**シェイクアウト**』と、簡単・手軽にできる備蓄の方法である『**ローリングストック**』の普及を進めています。

防災月間を機に、この2つの取組みを家庭や職場などでチャレンジしてみましょう。

◎自宅や職場、学校の中は安全ですか？

地震では、屋内で家具などの転倒により亡くなった方がいました。金具等で補強を。

◎屋外では周囲のものに気を付けて！

建物やブロック塀から離れてカバン等で頭を守ったり、うづくまります。

【**シェイクアウト**】とは、地震が発生した時に、自分自身を守るために真っ先に行うべき安全確保行動のことです。いざ地震が起きた時はまず自分の身をしっかりと自分自身で守りましょう！



災害は、いつ身近に起こるかわかりません。ひとたび大きな災害が発生した場合、生活に必要な食料や日用品が届かなくなることがあります。

【**ローリングストック**】とは、普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、それらを日常生活の中で使いながら、使った分を買い足すことです。まずはローリングストックで簡単に防災をはじめましょう！

誰でも簡単！手軽に3ステップ！これがローリングストックだ！



■最上総合支庁では、自主防災組織の組織化と活性化を図るため、次の事業を実施します。

- 防災ワークショップ・フィールドワーク等**…地域の災害避難を想定した自主防災組織の訓練や、災害に遭遇した他地区の経験や教訓を聴き、地区の課題を地区住民が検討する会を開催します。
- 地域防災力向上セミナー**…人口減少と高齢化社会を見据えて、女性の参画も踏まえた地域防災力の充実・強化を主なテーマとして、主に自主防災組織を対象に研修会を開催します。

事業への御理解と御協力についてよろしくお願いたします。

ありがとうリゾートみのり号

6月末に定期運行を終えたJR陸羽東線の快速列車「リゾートみのり」（仙台～新庄間）のラストランが8月8日から10日まで運行され、終着駅である新庄駅では、鮭川歌舞伎やさみだれ太鼓（戸沢村）、地元のゆるキャラなどで列車を出迎え、別れを惜しみました。「リゾートみのり」は平成20年10月に運行を開始し、土日祝日を中心に東北線経由で陸羽東線を走り、21万人を超える乗客を運んできました。車両の老朽化により、6月28日に最終運行を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。代わりに行われたこのたびの「ありがとうリゾートみのり号」運行には、多くの鉄道ファンが集まりました。沿線でも、地元の方が小旗を振ったり、途中停車する駅では、地元観光関係者らがおもてなしをしたりなど、感謝の気持ちで見送りました。これからも最上地域を訪れていただけるよう、引き続き最上地域の魅力を発掘・発信してまいります。

[観光振興室 29-1311]



トルコギキョウの彩りを届ける

最上地域はトルコギキョウの主産地の一つで、7月上旬から11月上旬まで出荷されます。最盛期を迎えるにあたり、消費者に品質の良い花を届けるため、7月30日と31日に新庄市昭和地区と萩野地区で目揃会が開催されました。

コロナ禍で消費の動向が見通せない中ですが、いつもと変わらない彩りを届けられるよう、今後も支援してまいります。

[農業技術普及課 29-1332]



若手生産者に期待!

近年、最上地域では野菜の生産が伸びており、その理由のひとつに若手生産者の活躍があります。7月上中旬にニラ、トマト、ねぎの若手生産者を対象に現地研修会が開催されました。研修会では、生産者間で『高品質化』や『収益性向上』に向けた率直な意見交換が行われました。

今後も地域農業を牽引する若手生産者の活躍にご期待ください。

[農業技術普及課 29-1333]



「スマート林業」を目指して

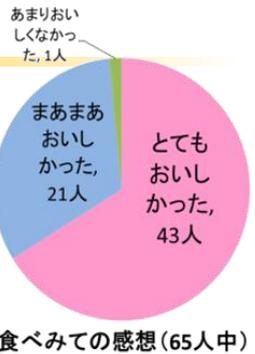
8月5日、真室川町の真室川県営林において、林業におけるデジタル情報や情報通信技術の利活用を推進していくため、地上型レーザ測量研修会を開催しました。地上型レーザ測量は、森林資源情報を3Dで把握・分析できる有効なツールです。今回の研修会では、講師に(株)ザオー測量設計の早坂紘史氏を迎え、山形森林管理署最上支署、市町村、森林組合、林業事業体の職員36名が受講しました。これまで見たことのない機材による新しい技術が紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。県では、このような技術が林業の現場で多く活用され「スマート林業」が定着するよう引き続き推進してまいります。

[森林整備課 29-1351]



食塩控えめでもおいしい! 適塩ランチ

減塩・野菜の日の8月19日に、最上総合支庁オリジナル『おいしい適塩ランチ』を最上総合支庁食堂『千起』で提供しました。「食塩控えめでもおいしく、野菜たっぷり」をコンセプトに、おいさと手作りにこだわって、無理なく減塩ができる健康的なメニューを企画しました。適塩ランチは食塩相当量 2.5g に抑えている以外にも、カロリーを 600Kcal 以下、野菜 120g 以上使用、果物 30g 以上使用しているなど、栄養バランスにも配慮したメニューです。食べられた方には、日頃の食事における味付けや、適塩にするための調理の工夫、野菜摂取等の参考にさせていただければと思っています。次の提供予定は11月19日(木)です。お楽しみに!



感想

「どのメニューも家で真似したいと思った。」
 「すべてが大変おいしかった。」
 「野菜いっぱいであれしかった。」
 「減塩でも大変おいしくいただきました。」
 「適塩でも味付けは調度よかった。」
 「特に塩気が足りないとは感じなかった。」
 「程よい塩加減で家族にも食べさせたい。」
 「肉、魚が欲しい。精進料理の様だ。」



良かったメニューランキング

順位	メニュー	票数
1	カリッと油淋鶏	46
2	甘みその豚汁	33
3	モロヘイヤの浸し	28
4	おかひじきの辛味和え 旨味ナムル	25
5	焼きなすのポン酢	24

[地域保健福祉課 29-1267]

お知らせ

■女性のためのモチベーションアップ講座

「夫のやる気を引き出す魔法の言葉」開催のお知らせ

社会参画に向けて実際に一歩踏み出した女性が、仕事や地域活動などの家庭外での活動において、今後もモチベーションを保ちながら継続的に活躍していくために、男性や家族との関係づくりや、理解と協力を得るための手法を紹介します。男女が共にいきいきと輝き続けることができるステキな関係を一緒につくってみませんか。

- 日時 9月13日(日) 13:30-15:30
- 場所 最上広域交流センターゆめりあ 2階会議室
- 申込み・問合せ先 最上総合支庁子ども家庭支援課 0233-29-1221

日時: 令和2年9月13日(日) 13:30~15:30
 場所: 最上広域交流センターゆめりあ 2階会議室 (新庄市多門町1-2)
 参加対象: どなたでも
 定員: 20名程度
 参加料: 無料
 主催: 最上総合支庁
 講師: 塩野 貴美 氏

■地域医療情報共有ネットワーク「もがみネット」にご参加ください

もがみネットは、県立新庄病院・県立中央病院を受診した患者さんの診療情報を、最上地域の医療機関・薬局・訪問看護ステーション・介護施設などで共有するシステムです。入院歴・薬の処方内容・注射の履歴・検査結果・カルテなどの情報を共有します。これにより、患者さんは異なる機関でも継続した医療サービスを受けられ、検査や薬の重複を防ぐ効果が期待できます。現在は山形県他地域・秋田県全域のネットワークと連携し、さらに効率的で質の高い医療サービスの実現を目指しています。(広域連携は医師・歯科医師のみ)

情報の閲覧には閲覧機関ごとに患者さんの同意書が必要です。医療機関等で同意をお願いされた際には、ぜひご協力ください。(加入していない医療機関・施設等もあります。)



[保健企画課 29-1257]

9月は「健康増進普及月間」です。

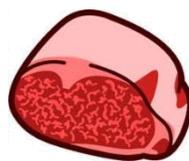
『健康増進』にはバランスのとれた食事や運動習慣、禁煙などの取り組みが重要です。普段の生活習慣をこの機会に見直してみませんか。



[地域保健福祉課 29-1267]

9月は「食肉衛生月間」です。

生肉には食中毒を起こす菌が付着しています。これらを十分に加熱しないで食べると食中毒を引き起こす可能性が高くなりますので、しっかり**加熱**して食べましょう。



[生活衛生室 29-1261]

9月24日(木)~30日(水)

は「結核予防週間」です。

結核は年間約1万6千人の新規患者が発生している「現代の病気」です。咳や痰が2週間以上続く場合は、結核を疑って医療機関を受診しましょう。

[地域保健福祉課 29-1268]

▶発行日 令和2年9月1日

▶発行元 山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

▶電話 0233-29-1360 ▶FAX 0233-23-2605



Twitter @shinjo_mogami



HP

